

第2決算審査 特別委員会委員長 報告

委員長	牟田口美智子
副委員長	小島 裕司
委員	山北 清四郎
	中島 宗昭
	荻方 英二
	益田 隆一

平成26年度一般会計 歳入歳出決算を認定

こども未来課

学童保育所の障がい児保育と社会福祉協議会の放課後型日中一時支援との連携は、同じ障がい児保育でも内容は違っており、児童の障がいの特性に応じて保護者には選択肢があつた方がいいが、保育者の障がい児への対応は連携して質の向上に努める。

施設の改修工事は財政係で町全体の「公共施設等総合管理計画」を制作中である。今後とも公共施設整備のメンテナンスは計画的に実施するように要望。

環境課

浄化槽維持管理協会加入率80%超を達成。今後も普及、負担軽減に向けた取り組みを推進していくことを要望。
八女西部広域事務組合負担金で不燃ごみ処理費が高く、見直しを協議中。将来的

に人口減少傾向にあることから町外からの生ゴミ受け入れの検討を提案。



おおき循環センター「くるるん」

福祉課

敬老会のあり方を見直しの検討を提案。

社会福祉協議会は近年の社会背景の中、社会福祉に対する町政への取り扱いが増加傾向にあるため様々な支援事業を年々充実させている。このような問題等も社協自身の補助事業などの活用も視野に入れ、社協と福祉課が連携を図りながらやって頂きたい。

自殺対策事業は学校教育課との連携を要望。

税務町民課

マイナンバー制度の導入を機に公的書類の用紙をコピー偽造防止用に変えることを要望。情報漏れいも考慮し検討するとの回答。

生涯学習課

青少年育成町民会議の中の「子どもの居場所づくり」事業報告の簡素化を提案。(27年度より実施する。)

校区民協議会は各校区で温度差があり、指導を要望。文化財保護費では町全体の簡易的埋蔵物マップを要望していたが進捗が見られないことから建設水道課との連携が必要と提案。

学校教育課

学校給食では残留農薬の検査、地場産野菜消費拡大推進、牛乳びんリユース推進について説明、さらなる検討を要望。

就学援助費は毎年増加傾向。困窮する保護者に対し国の基準に基づきその経費の一部の援助について適正に認定されていくように要望。

健康課

スポーツクラブ等の利用による「健康寿命」を伸ばす事業

計画の提案。

アクアスの改修工事は雨漏り、浴室の天井落下防止、地下室への流水など人に影響あるものから優先すべきで改修年度計画の見直しをとる意見。また修繕費用を考えると建替の検討も必要との意見。更なる特定健診の受診率向上対策を要望。



アクアス

26年度国民健康保険 特別会計決算審査

5288万3277円の黒字決算。

歳入の前期高齢者交付金が前年に比べ1億円以上増加したことから赤字が解消された。大木町国民健康保険の年間平均世帯数1758世帯、被保険者数3349人、医療費総額13億5236万8237円、一人当たり40万3813円。

今後の国保運営を健康増進対策、特定健診の受診率向上を図り早期発見治療による病気を防ぐなど、医療費抑制に努め、国民健康保険制度が安定した運営になるように指示した。これらの改定を実施するよう要望。

26年度後期高齢者 医療特別会計決算審査

実質収支額593万1916円の黒字決算。

運営は広域連合が行い、町のかかわりは被保険者と直接関係する異動、保険証の交付等の窓口業務や納付書の発行、保険料の徴収業務等である。

出席委員全員一致により原案のとおり可決。



審査の様子